1 学校教育目標

- 他人の気持ちや考えを理解し、適切に行動する人材の育成 【美風】
- 自ら目標を定め、その達成に向け主体的に努力する人材の育成 【自律】
- 互いに高め合い、協働して社会に貢献する人材の育成 【創造】

2 育成を目指す資質・能力

- 東川 *mind*

{	福祉 <i>mind</i>	(至誠心、受容力、共感力)
	Glocal <i>mind</i>	(社会性、協働性、コミュニケーション力)
	Challenge <i>mind</i>	(主体性、行動力、創造力)

3 重点目標

- ◎学校の特色を明確にし、生徒一人ひとりの個性を生かす、創意あふれる教育実践を推進する。
- (1) 地域の理解と協力を得、地域を活用した探究活動を計画し、地域に開かれた学校づくりを推進する
- (2) 校訓や学校教育目標、東川 *mind* の浸透を図り、一人ひとりの可能性を高める実践を推進する。
- (3) 教職員の連携・協働・共有と、分担意識の高揚により、ワークライフバランスの向上を図る。

4 自己評価及び学校関係者評価結果

学校運営協議会
委員による評価

分野領域	評価項目	自己評価	改善の方策	「自己評価」の適切さ	「改善の方策」の適切さ
教育目標	1 本校の教育目標は、生徒の実態と保護者や地域の方々の願いを踏まえたものとなっていますか。	A	2021年に現在の目標に変更になった。引き続き生徒、保護者の期待に応えられるよう教育活動との関連を明確にしていく。	A	A
	2 教育目標の具現化や「育成を目指す資質・能力」を身に付けさせることを意識して、日常の教育活動を行っていますか。	B	コロナ禍において、思うような教育活動が出来ない面は否めないが、生徒たちの能力を伸ばすよう教育の質を高める。	B	A
学習指導	3 生徒が意欲的に学ぶことができるよう、分かりやすい授業を行い、指導方法や指導形態等の工夫改善に努めていますか。	B	I C T の効果的な活用が迫られる中、指導形態、指導方法の工夫改善に向けて、研修体制の充実に努める。	B	A
	4 基礎学力の定着及び学力向上に向けた取組を行っていますか。	B	基礎基本の徹底を中心に、放課後講習、個人添削等、柔軟に対応していく。	B	A
	5 「総合的な探究の時間」の計画をすすめることができましたか。	B	本校の特徴でもある福祉教育の充実等、地域との連携を深めていくよう努める。	B	A
生徒指導	6 生徒に法令や生徒心得を遵守する姿勢が育ち、基本的な生活習慣が確立され、主体的に行動ができるような指導を行っていますか。	B	自主的な行動が取れるよう、個々の役割を明確にし、対話を重視した指導に努める。	B	A
	7 他を思いやり、尊重する意識を高めるような指導を行うとともに、いじめの未然防止に取り組んでいますか。	A	いじめに繋がる言動根絶を目指し、日常の情報共有を大切にしながら、未然防止、早期対応に努める。	A	A
	8 生徒同士の協働を推進し、行事の活性化を図ることができましたか。	B	制限がある中で、実施方法を検討し生徒に様々な経験を積み重ねていく。	B	A
進路指導	9 望ましい勤労観や職業観を身に付けるための指導を進めていますか。	B	将来を見据えた進路指導を実践し、キャリア教育を充実させる。	B	A
	10 進路希望に関する情報や資料提供等を適切に行い、生徒の適性や希望を生かすことのできる進路指導体制ができていますか。	B	進路決定率100%達成を前提に、生徒の自己実現を支援できるよう進路体制の充実に努める。	B	A
健康安全	11 健康指導・交通安全や美化活動などの生活安全に関する指導が適切に行われていますか。	B	生徒一人ひとりの安全意識を高め、より一層の健康安全に努める。	B	A
	12 個人面談や教育相談体制の充実など、生徒一人ひとりを大切にしている組織体制ができていますか。	B	スクールカウンセラーの効果的な活用、積極的な個人面談等を実施し、安定した学校生活に繋がるよう体制を維持する。	B	A
開校校づくり	13 保護者や地域と連携・協力した教育活動が進められていますか。	B	保護者、地域との信頼関係を構築し、連携・協働の充実に努める。	B	B
	14 保護者・地域に積極的に情報提供するなど、開かれた学校づくりを意識し、推進していますか。	B	タイムリーな情報提供に努め、HPの充実、授業公開等、保護者、地域が足を運びやすい状況をつくる。	B	B
その他	15 新型コロナウイルスの感染予防や感染拡大防止を常に意識し、生徒や保護者に指導・情報提供するなど、適切な対応が行われていますか。	A	法令、通達に沿った指導に努め、感染防止を更に徹底できるよう情報提供と指導に努める。	A	A
	16 業務を組織的に行うとともに、効率化に努めるなど、時間外勤務縮減に向けた取組はできていますか。	B	生徒、保護者に寄り添う対応を基盤に時間外勤務縮減に向けた実践に努める。	B	A

評価平均 A : 4 ~ 3. 26 B : 3. 25 ~ 2. 51 C : 2. 50 ~ 1. 76
D : 1. 75 以下